

口癖の自動抽出による話し方のメタ認知の支援

山川 隆二郎

Ryujiro Yamakawa

1 研究概要

1. 作りたいもの

口癖を自動抽出しユーザに提示することで話し方のメタ認知を支援するシステム。

メタ認知とは自分自身の性格や能力、意思、癖や行動パターンを自分自身で客観的に理解することであり、メタ認知できる力のことをメタ認知能力という。メタ認知能力を高め自分のことを理解することで、任された仕事から起こり得るミスを予測することや、弱点を理解し克服するためのトレーニングを見つけることに繋がる。

今回の目的は話し方のメタ認知から自分の話し方の悪い癖を改善することである。しかし口癖や話し方といっても話す相手や状況が変われば、使う言葉も話し方も変化する。また1度発言しただけで相手を不愉快にさせてしまう言葉をあれば繰り返し口にすることで相手にネガティブなイメージを与える言葉もある。

そこで、話し言葉の状況を「プレゼンテーション(説明)」と「面接(質疑応答)」この2場面から口癖を自動抽出するシステムの開発にしたいと思う。理由は、上記の2場面は自分より立場が上の方々に物事をわかりやすく説明する力や、自分の意思を伝える力が求められ、就職やビジネスに直接関わることが多いからである。

以上のことからプレゼンテーションと模擬面接から口癖を自動抽出し、話し方のメタ認知を支援するシステムの開発がしたい。

2. 誰が使うか

ユーザの最大の対象を学生とする。理由は学生生活中に自分の話し方をメタ認知し、欠点を改善することができれば、研究発表等のプレゼンテーションや、最終的に通る道である就職活動の面接やグループディスカッション時に有効だからである。また、学生のうちからビジネスマナーに触れることで、社会人になるという自覚を与えることができると考える。

職業柄プレゼンテーションが多い職業や営業職、電話対応の多い職に就いている方々も第2のユーザの対象になると考える。

3. どこで使うか

場所を問わず使用できるシステムの開発を目的とする。学校でも自宅でも使用できるシステムの開発

が理想である。

4. いつ使うか

学生が使用することを前提にプレゼンテーションの練習時、模擬面接時、授業等のプレゼンテーション時にこのシステムを使用すると考える。

5. どのように使うか

使用するものは音声入力のためのマイク、結果を出力するためのPCもしくはタブレットとする。ユーザにはマイクを付けてもらい、プレゼンテーションもしくは面接の練習を行ってもらい、それを音声入力とする。音声入力が完了したら画面に口癖のグラフを提示すると共に、入力された音声を全てテキスト化し表示する。

グラフ化する理由としては、ユーザが頻繁に使用する口癖は何なのか見やすく表示するためである。入力された音声全てを表示するのはメタ認知を支援するためである。「あなたの口癖は~です」と表示するだけでなく、口癖を意識させたあと文書化した自分の発表を見直すことで客観的に自分の口癖を確認することが可能になると考えたからである。また文書化することによって、教授に添削してもらうことで、二重敬語などの間違った言葉使い等も直すことができると思う。

6. 何を材料として作るか

- ・マイクからの音声入力
- ・口癖の音声モデル
- ・口癖を抽出しカウントする方法
- ・入力された音声をテキスト可するシステム
- ・可視化する手法(グラフ、テキスト)
- ・*性格や心理状態の推測
- ・*話すスピードが適正かどうかの判定

2 イメージ図

1. システム

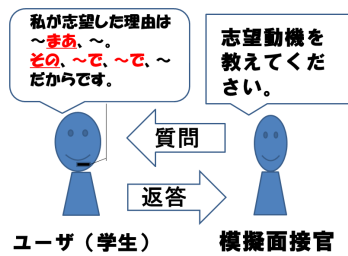


Fig.1 音声入力



Fig.2 グラフの出力

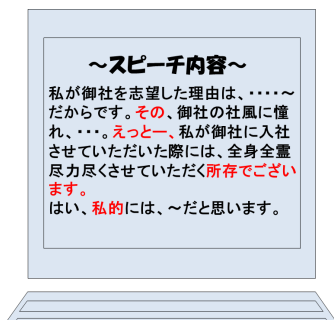


Fig.3 テキスト出力

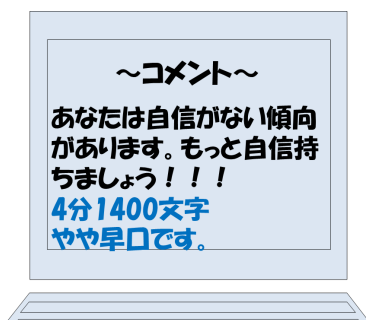


Fig.4 コメントの出力

3 現在までの調査結果

1. 口癖について

口癖とはその人が頻繁に口にする言葉である。Google を使用し得たよく使われる口癖の情報を下記に記す。閲覧サイト数は現段階で 30 サイト程度である。

話始めに話す言葉

あー、あつ、あっはい、あの一、ある意味、一応、いや、いわゆる、えー、えーっと、きっと、必ず、逆に、結局、しかし、実際、絶対、その、その一、そもそも、それで、だって、だから、例えば、ちなみに、ちょっと、つまり、～的には（私的、基本的）ですから、でも、どうせ、とにかく、とりあえず、なんか、何でかといいますと、なんとなく、はい、ふつう、別に、変な話、やっぱり、要するに、要は、わりと、んー、んーっと

会話の途中で出てくる言葉

～というか、～っていうか、～というかたちで、～とか、～なんですけど、～ばい、～のほうが、～みたいな、～の形となっています。

相手に対する相槌

いいかもしれないですね、すみません、そうですね、大丈夫です、確かに、なるほど。

ネガティブなイメージを与える言葉

だから、だって、ですから、でも、どうせ、どうして（D 言葉）

語尾を伸ばす

あの一、その一、・・・を～、・・・をしたときに～、・・・なので～

2. 口癖と性格

口癖から個人性格や考え方が特定できるとよくいわれている。口癖から読み取れる性格や心理状態等の Google を使用し得た情報を下記に記す。閲覧サイト数は約 20 サイト程度である。

～口癖が与えるイメージ～

<深く考えていない>

・やっぱり ・逆に

<自信がない、意思が弱い>

・まあ ・なんか ・ちょっと ・どうせ ・えー ・とりあえず ・～みたいな ・わりと

<感情的>

・絶対

<自己主張が強い、頑固>

・だから ・一応 ・いや ・そもそも

<自信家>

・つまり ・要するに ・とにかく

<理解力がある or 話を聞いていない>

・なるほど ・たしかに

<ライバル心が強い、人情に厚い>

・わりと

<自己中心的、自己アピールしたい>

・しかし ・でも ・本当に ・常識的に ・
そもそも ・必ず ・きっと ・とにかく
・やっぱり ・めちゃくちゃ

<短期>

・とにかく

<おおざっぱ>

・~とか ・~みたいな

<融通が利かない>

・それで ・すなわち

<言いたいことが言えない、ストレスがある、協調性に欠ける>

・別に

<理屈っぽい>

・何しろ ・基本的に ・ちなみに ・つまり
・そもそも ・いわゆる ・結局 ・もち
ろん ・確かに ・逆に言うと

<頭の回転が速い、好奇心旺盛>

・じゃあ

<共感を得たい>

・~というか ・~というか ・てか ・でも

<めんどくさがり屋>

・なんか ・まあ ・要は ・要するに

<無責任>

・なんか ・~って感じ ・~っぽい ・ふつ
う ・変な話 ・何となく ・わりと ・あ
る意味 ・~かもしれない

~使う口癖の種類から性格診断~

2009年12月23日放送の日テレ番組「思いっきりDON！」で東京未来大学・教授 出口保行(でぐちやすゆき)先生が出演した際に話した内容。

「あいまいな口癖」が多い(なんか、何となく、わりと、ある意味、~っぽい、~って感じ等)

長所

・自己主張を避ける ・人付き合いを円滑にしようとする ・穏やかに物事を進めたい

短所

・無責任 ・逃げ腰 ・実は原黒

「理屈っぽい口癖」(だから、要するに、つまり、逆に、結局、そもそも等)

長所

・リーダーシップ性がある

短所

・目立ちたがり屋 ・上から目線イメージ ・ナルシスト

「自分アピール系」(すごい、絶対、必ず、めちゃくちゃ、ありえない、きっと、とにかく等)

長所

・説得力があるタイプ ・悩みに対しズバッと言ってくれる

短所

・他人の意見をあまり聞かない ・言葉の印象が強く人を傷つけている可能性あり ・孤立しやすい

「おおざっぱ系」(なるほど、~みたいな、ぶっちゃけ、バッチリ、雰囲気的には、何気に、とりあえず)

長所

・人当たりがいい ・元気で明るいイメージ

短所

・信頼性に欠ける ・その場凌ぎが多い傾向

4 次回の発表までにすること

・話初め、会話の途中、語尾を伸ばしてしまう言葉など、口癖を列挙しまとめる

・口癖と相手に与える印象との関係を調べまとめる

・口癖や話し方についての論文を読む